

令和7年度「全国学力・学習状況調査」の結果 －分析から見てきた成果・課題と今後の取組について－

区 名	城東区
学 校 名	森之宮小学校
学校長名	山内 伸作

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和7年4月17日（木）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数・理科）に関する調査」と「児童質問調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

- ・国語
- ・算数
- ・理科

(2) 質問調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・森之宮小学校では、第6学年 25名

令和7年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

森之宮小学校の6年生（25名）の児童の集計結果はの通りである。

3教科の正答率

国語 67%（全国66.8%、大阪市65%）

算数 60%（全国58%、大阪市58%）

理科 53%（全国57.1%、大阪市55%）

以上のことから国語、算数は全国・大阪市より若干数値が上回っている。しかし、理科は全国・大阪市より数値が低く、理科が苦手であることがわかる。

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

〔国語〕

「言葉の特徴や使い方に関する事項」は全国・大阪市より平均正答率が高い。漢字の書き取りや文章を要約する設問は理解しているといえる。しかし、「情報の扱い方に関する事項」、「我が国の言語文化に関する事項」はともに全国・大阪市より低い。目的の意図を考えたり、段落相互の関係から文章の構成を理解する設問が苦手といえる。また、目的に応じて図や表から必要な情報を読み取ることも苦手なため、情報整理して活用する力が必要といえる。

〔算数〕

「数と計算」、「図形」の領域は全国・大阪市とともに上回っている。特に計算や図形の角の大きさを求める設問は理解をしている。しかし、全国・大阪市と本校で理解度が低いものがあった。それは、分数の加法の設問で共通する単位分数からいくつ分であるか考えるものである。言葉や数を使って説明することが苦手であるといえる。同様に数直線上で一つの目盛りの読み取りの設問も正答率が悪かった。また「測定」、「変化と関係」、「データの活用」は全国・大阪市より若干下回る。グラフから出荷量の増減を判断し、その理由を言葉や数を用いて表す設問が苦手だと分かる。

〔理科〕

総合での平均正答率は低く、その内訳以下のようになっている。

「エネルギーを柱とする領域」では身の周りに金属について電気を通す物、磁石に引きつけられる物の理解が全国・大阪市と同様、正答率が低い。また、電気の回路のつくり方を考えることに課題があるといえる。「地球を柱とする領域」では、氷と水の関係をよく、理解しており全国・大阪市の平均より大きく上回っていた。

質問調査より

「国語の授業で、目的に応じて、簡単に書いたりくわしく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫して文章を書いていますか。」の設問では、全国・大阪市と同様「よくしている。」「どちらかといえばしている。」が8割以上であった。現行の学習指導要領の内容を踏まえ、主体的で対話的な学びができてきているといえる。

「算数の授業の内容はよく分かりますか。」の設問では、全国・大阪市は約80%に対し、本校は約90%であった。日々の授業での指導が表れていると思う。また、「算数の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できていますか。」でも、全国・大阪市は約80%に対し、本校は約90%であった。算数科の学習の活用場面での定着ができていえるといえる。

「理科の授業の内容はよく分かりますか。」の設問では、全国・大阪市と本校は約90%であった。内容は理解できているが、その都度、復習など反復が必要だといえる。「理科の授業で、観察や実験の結果から、どのようなことが分かったのか考えていますか。」の設問では、全国・大阪市は約85%に対し、本校は約95%であった。日々の理科の学習で観察、実験の結果から考察をよく行っていることが分かる。

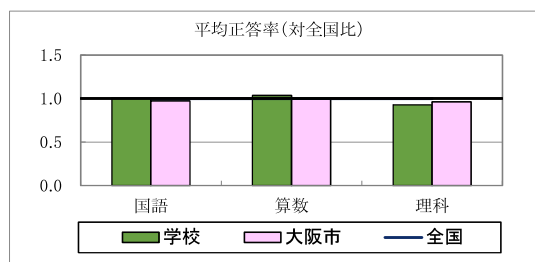
今後の取組(アクションプラン)

分析から見えてきた成果・課題（「教科に関する調査」・「児童調査」）から。以下の取り組みをしていく必要がある。国語科、算数科、理科の3教科から総合して今後改めて学習を重点的に行うことは、「資料の読み取り」である。資料の情報を正しく読み取り、そこから分かったこと、課題となることを考え、対話する力が大切である。日々の授業の中で、国語科であれば説明文で資料（グラフや表）、写真から筆者の意図や読み手に説得力がある提示の仕方など読み取る活動を行う。算数科であれば、データの活用領域がメインになっていく。各学年で系統立てて学習していくグラフはどれを使えば効果的か、それぞれのグラフのよさを理由をつけて説明する活動をしていく。理科でいえば、物質・エネルギーの領域、生命・地球の領域どちらでもグラフや表が用いられる。そこから分かる根拠を見出し考察していくことが求められてくる。今回、調査のあった3教科のみならず、他教科に関しても、「資料の読み取り」が必要になってくる。また、大阪市内で今年度から取り組まれている総合的読解力より実りのあるものにしていく必要がある。児童にとって今後、社会に出る上で情報活用能力が必要になってくる。最後に、これらどの教科にも言えることであるが既習分野の復習をしっかり行い、定着させていくことも大切である。また、評価テストや授業中の児童のつまづきから苦手な箇所を見極め、適宜指導していく。

【 全体の概要 】

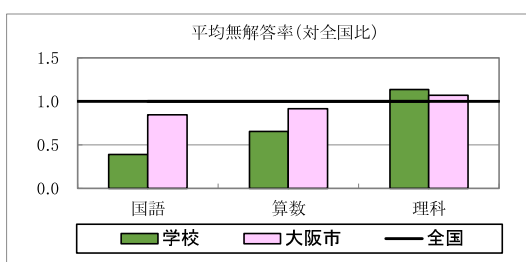
平均正答率（％）

	国語	算数	理科
学校	67	60	53
大阪市	65	58	55
全国	66.8	58.0	57.1



平均無解答率（％）

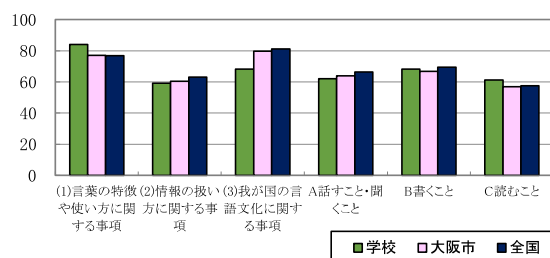
	国語	算数	理科
学校	1.3	2.4	3.2
大阪市	2.8	3.3	3.0
全国	3.3	3.6	2.8



【 国 語 】

学習指導要領 の内容	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い 方に関する事項	2	84.1	77.1	76.9
(2)情報の扱い方に 関する事項	1	59.1	60.4	63.1
(3)我が国の言語文 化に関する事項	1	68.2	79.9	81.2
A 話すこと・聞くこと	3	62.1	64.0	66.3
B 書くこと	3	68.2	66.7	69.5
C 読むこと	4	61.4	56.9	57.5

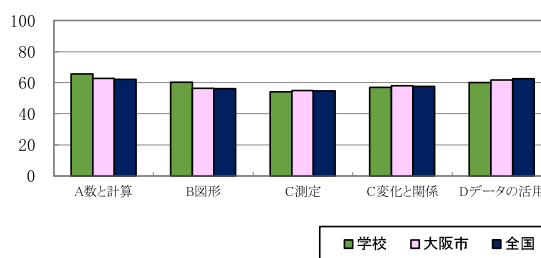
国語 内容別正答率(学校、大阪市、全国)



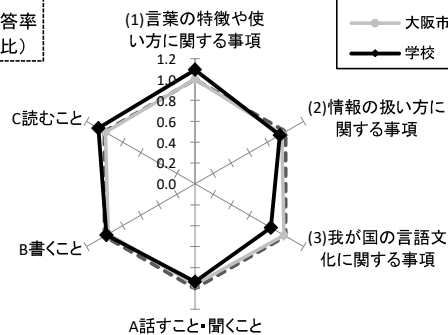
【 算 数 】

学習指導要領 の領域	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	8	65.6	62.7	62.3
B 図形	4	60.4	56.4	56.2
C 測定	2	54.2	54.9	54.8
C 変化と関係	3	56.9	58.2	57.5
D データの活用	5	60.0	61.9	62.6

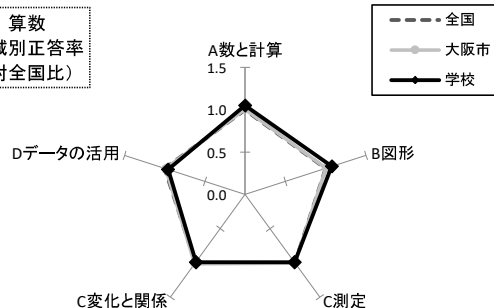
算数 領域別正答率(学校、大阪市、全国)



国語
内容別正答率
(対全国比)

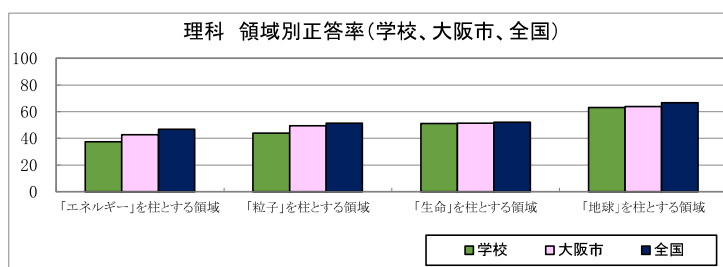


算数
領域別正答率
(対全国比)

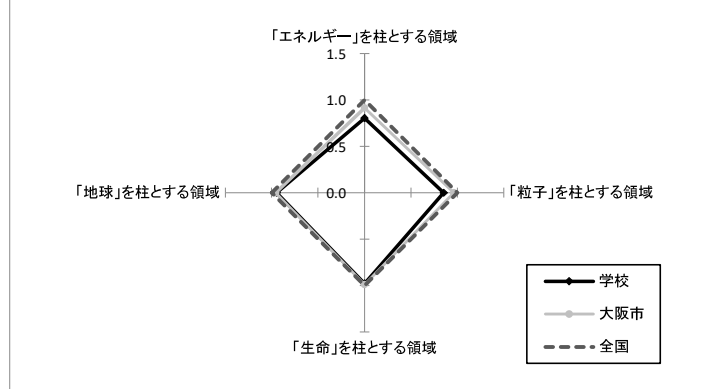


【 理科 】

学習指導要領 の区分・領域		対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
			学校	大阪市	全国
A 区分	「エネルギー」を 柱とする領域	4	37.5	42.7	46.7
	「粒子」を 柱とする領域	6	43.8	49.5	51.4
B 区分	「生命」を 柱とする領域	4	51.0	51.4	52.0
	「地球」を 柱とする領域	6	63.2	63.8	66.7



理科 領域別正答率(対全国比)



児童質問より

質問番号

質問事項

50

国語の授業で、目的に応じて、簡単に書いたりくわしく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫して文章を書いていますか

1

2

3

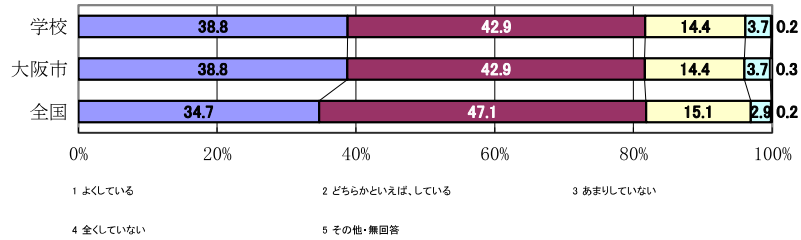
4

5

6

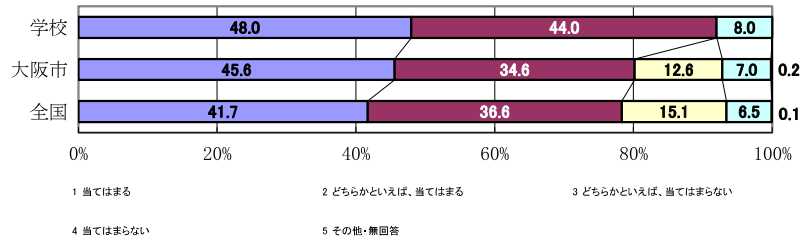
7

8



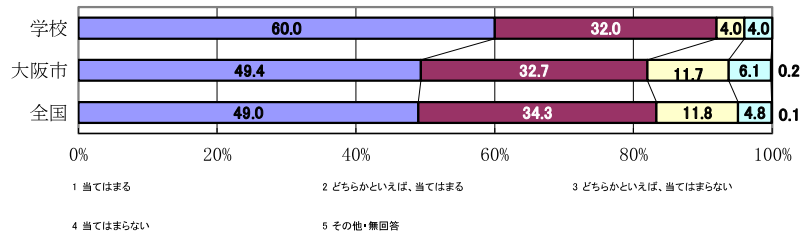
54

算数の授業の内容はよく分かりますか



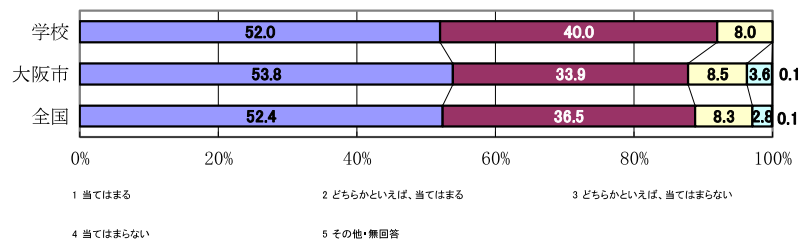
56

算数の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できていますか



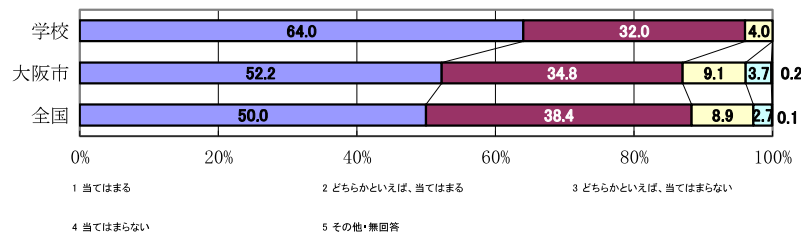
62

理科の授業の内容はよく分かりますか



69

理科の授業で、観察や実験の結果から、どのようなことが分かったのか考えていますか



学校質問より

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

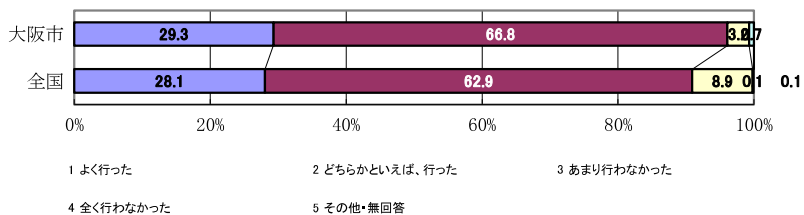
質問番号

質問事項

30

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、学習指導において、児童一人一人に応じて、学習課題や活動を工夫しましたか

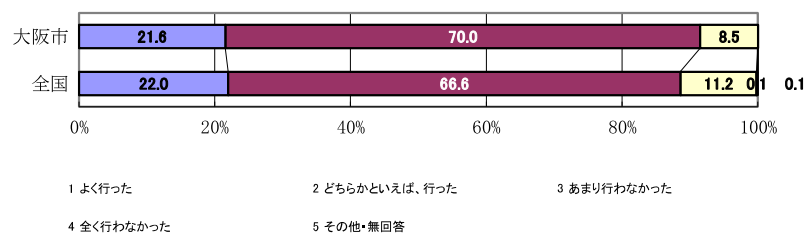
学校「どちらかといえば、行った」を選択



33

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をしましたか

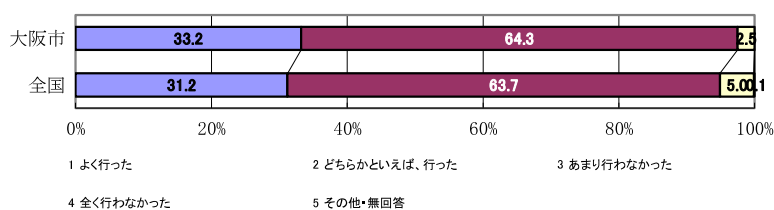
学校「よく行った」を選択



42

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、国語の授業で、児童に学習の状況について改善すべき点を伝え、改善できるように手立てを講じたことを行いましたか

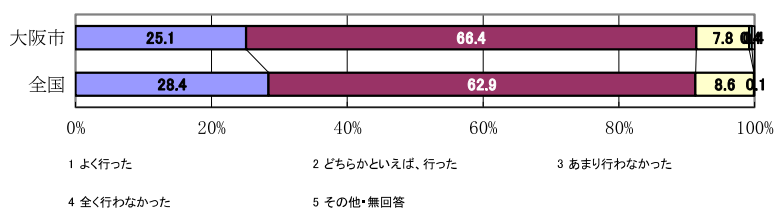
学校「どちらかといえば、行った」を選択



45

調査対象学年の児童に対する算数の授業において、前年度までに、日常生活や社会における事象との関連を図った授業を行いましたか

学校「どちらかといえば、行った」を選択



51

調査対象学年の児童に対する理科の授業において、前年度までに、問題に対して、既習の内容や生活経験を基に、予想や仮説を発想することができるような指導を行いましたか

学校「どちらかといえば、行った」を選択

